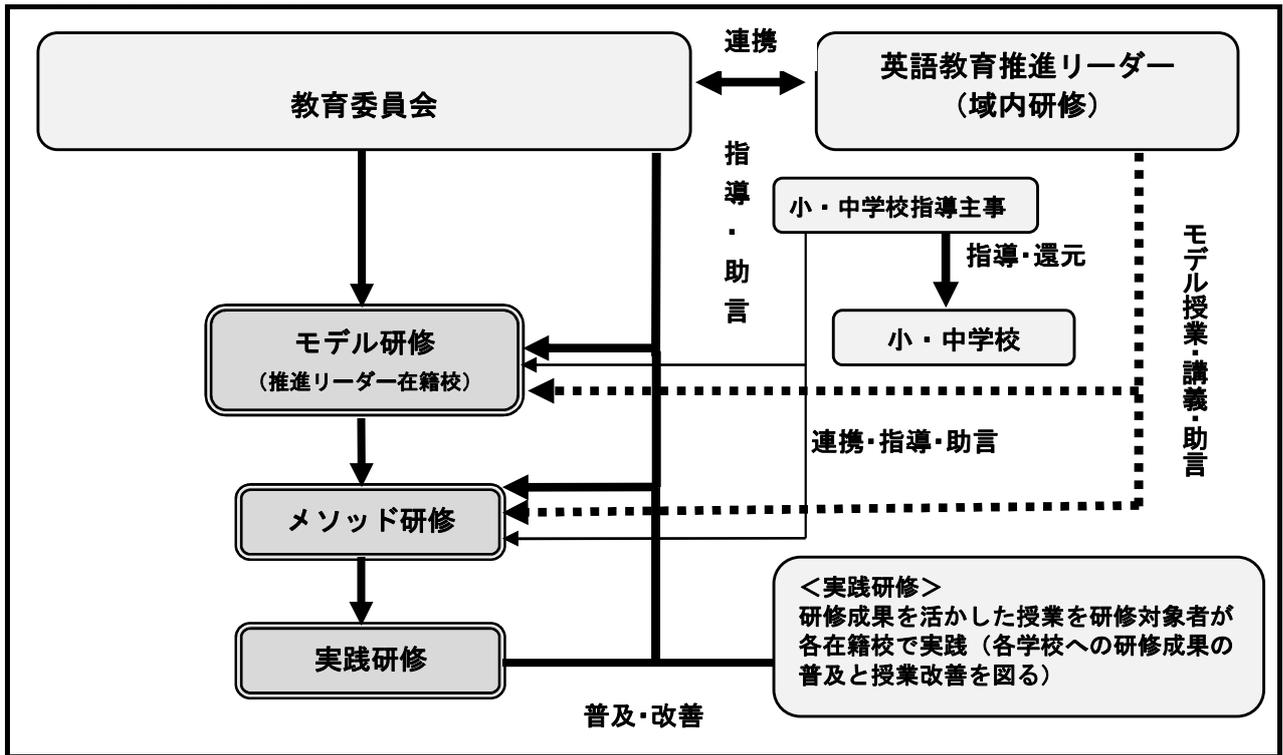


(様式3-2)

福岡県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

①求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

【高校】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
75	72	73	74	75	76

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (7) 研修対象者を中心に英語検定準1級以上（日本英語検定協会）の資格取得を奨励し、教員の英語力の検証・向上を図る。毎年の資格取得者数を15名程度とする。

【中学】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
34	36	40	44	47	50

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (7) 全英語教員を対象とした県主催の英語教員英語力向上研修を実施し、英語関係企業と連携して教員の英語力の向上を図る。
- (4) 福岡県指導主事等研修会（外国語分科会）において、県内の教育事務所及び各教育委員会に対し、英語力向上のための具体的な数値目標を設定するように依頼する。
- (5) 福岡県教育センター、各教育事務所における英語教員対象の研修会等において、資格取得に向けた啓発を行い、教員の英語力の検証・向上を図る。

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合（中学校第3学年、高等学校第3学年）

【高校】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
50	43	45	47	49	50

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 教員の指導力向上及び学習指導要領の趣旨に沿った4技能統合型の授業の充実を図り、生徒の総合的英語力を向上させる。
- (イ) 「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標について達成状況の把握までを行うことができるよう研修会や教育課程説明会で指導と啓発を行う。実践研修において、「CAN-DOリスト」の達成目標を活かした授業を行う。
- (ウ) 生徒の積極的な英語検定試験等の資格取得が、各学校で普及するような指導を行う。

【中学】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
38	42	44	46	48	50

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 県域の全中学3年生を対象として英検IBAテストを実施し、生徒の英語力の状況を把握するとともに、結果に基づいた授業改善及び個に応じた支援を行う。
- (イ) 全英語教員を対象とした県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修を実施し、複数の技能を統合した授業の充実を図り、生徒の総合的な英語力の向上を図る。
- (ウ) 全英語教員を対象とした県主催の英語力向上研修において、「CAN-DOリスト」の形式の学習到達目標の活用及び達成状況の把握に向けたパフォーマンステストの在り方について説明・演習を行い、生徒の英語力を向上させる授業づくりへの改善を図る。

③「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

【高校】

ア 数値指標

	2018	2018	2019	2020	2021	2022
指標内容	目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
設定(%)	100	95	100	100	100	100
公表(%)	100	95	100	100	100	100
達成状況の把握(%)	100	95	100	100	100	100

イ 目標達成のための具体的な手立て

設定については、平成25年度に通知を出しており、平成26年度に全ての県立高等学校において作成を完了した。福岡県のデータとしては、各項目95%であるが、県立学校については100%である。今後、市町村等教育委員会とも連携を図り、各学校の「CAN-DOリスト」の内容を向上させ、さらに活用・評価にまでつなげる指導を研修会と教育課程説明会で実施する。

【中学】

ア 数値指標

	2018	2018	2019	2020	2021	2022
指標内容	目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
設定(%)	100	100	100	100	100	100
公表(%)	80	95	100	100	100	100
達成状況の把握(%)	100	100	100	100	100	100

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (7) 全英語教員を対象とした県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修を実施し、学習到達目標（CAN-DOリスト形式）の意義について確認し、活用方法、や公表・達成状況の把握方法について見直し、改善を図る。
- (イ) 平成31年度の福岡県指導主事等研修会の外国語部会において、学習到達目標（CAN-DOリスト形式）の意義やその活用、改善に向けた各市町村教育委員会の取組等について事例発表や協議を行い、共通理解を図る。

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【高校】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
50	37	40	43	46	50

イ 目標達成のための具体的な手立て

本県は、平成24年度から平成26年度まで実施した研修会において、4技能を総合的に育成する授業の普及を図ってきた。平成27年度以降の研修で全英語教員を対象とした県主催の英語教員指導力向上研修を実施し、研修会の成果を各学校に還元・普及を行い、英語教員の言語活動に係る指導力向上を図ることにより、言語活動の充実をさらに加速させてきた。2019年度以降も研修会と教育課程説明会で指導を継続する。

【中学校】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
75	77	80	85	90	95

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (7) 全英語教員を対象とした県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修を実施し、複数の技能を統合した授業の充実を図ることにより、生徒の英語による言語活動時間の占める割合の向上を図る。

⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【高校】

ア 数値目標

普通科

	スピーキングテスト・ライティングテストの両方を実施				
	2018	2019	2020	2021	2022
	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
Ⅰ	29%	32%	35%	38%	40%
Ⅱ	23%	26%	29%	32%	35%

コⅢ	10%	13%	16%	18%	20%
英表Ⅰ	23%	26%	29%	32%	35%
英表Ⅱ	26%	29%	32%	35%	37%

英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

	スピーキングテスト・ライティングテストの両方を実施				
	2018	2019	2020	2021	2022
	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
総英	75%	78%	81%	83%	85%
異文化理解	75%	78%	81%	83%	85%

その他の専門学科及び総合学科

普通科	スピーキングテスト・ライティングテストの両方を実施				
	2018	2019	2020	2021	2022
	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
コⅠ	22%	25%	28%	31%	33%
コⅡ	24%	27%	30%	33%	35%
コⅢ	11%	14%	17%	20%	22%
英表Ⅰ	26%	29%	32%	35%	37%
英表Ⅱ	27%	30%	33%	36%	38%

イ 目標達成のための具体的な手立て

(ア) 県主催の研修において、パフォーマンステストに関する指導・助言を行う。

(イ) スピーキングテストについて

スピーキングテストの実施については、評価を意識したテストを実施する時間の確保が課題である。この課題を解決するために、スピーキングテストの具体的な実施方法に関するモデルを提示し、段階的な普及を図りたい。

(ウ) ライティングテストについて

ライティングテストは平成27年度までの研修においてノウハウが確立されており、平成28年度からは研修会において、定期考査の工夫・改善を含めた実施のさらなる徹底を図っている。

【中学】

ア 数値目標

スピーキングテスト・ライティングテストの両方を実施				
2018	2019	2020	2021	2022
現状	目標値	目標値	目標値	目標値
90	93	96	98	100

イ 目標達成のための具体的な手立て

(ア) 全英語教員を対象に実施する県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修において、パフォーマンステストの実施方法について説明・演習を行い、効果的な実施に向けて改善を図る。

(イ) A L T指導力等向上研修において、パフォーマンステストについて協議し、具体的な評価方法についてモデルを作成し、実施の普及を図る。

(ウ) 福岡県指導主事等研修会外国語部会でパフォーマンステストの実施・改善に向けた協議を行うとともに、実施のための時間確保やテストの妥当性について研修を行う。

⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況

【高校】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
70	36	40	43	46	50

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 県主催の研修において、教員の英語使用についての研修を実施する。
- (イ) 重要な要素は「教員の英語力向上」及び「生徒の英語による言語活動時間の充実」と考える。したがって、その2つを実行することで使用率向上を図る。
- (ウ) 実践研修において、教員の英語使用率の割合を設定させ、それに向けた授業改善ができるように、研修の充実を図る。

【中学】

ア 数値指標

2018	2018	2019	2020	2021	2022
目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
70	75	80	85	90	95

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 全英語教員を対象に実施する県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修において、英語で進める授業について実践を基にした研修を行う。
- (イ) 教育事務所指導主事等による学校訪問の際に、ALTとのチームティーチングにおいて、言語活動中心の授業の設定と英語で授業を進めることについて指導する。
- (ウ) ALT指導力向上研修において、JTEに英語での言語活動の事例等を示したり、海外研修経験者にワークショップを依頼するなどしたりすることで教師の英語による指導方法についてモデルとして示す場を設定する。

⑦域内の全ての学校における研修実施回数及び研修受講者の人数

【高校】

ア 数値指標

	2018	2018	2019	2020	2021	2022
指標内容	目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
研修実施回数	21回	21回	12回	3回	3回	3回
研修受講者数	160人	171人	130人	30人	30人	30人

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 2019年度は英語教育推進リーダーによる研修会を12回実施する。計画を確実に実施することにより目標を達成する。
- (イ) モデル研修、メソッド研修、実践研修を通して、参加者の授業改善を図り、最終的に研修成果を各学校へ普及させる。

【中学】

ア 数値指標

	2018	2018	2019	2020	2021	2022
指標内容	目標値	現状	目標値	目標値	目標値	目標値
研修実施回数	14回	14回	2回	2回	未定	未定
研修受講者数	110人	105人	285人	285人	未定	未定

イ 目標達成のための具体的な手立て

- (ア) 全英語教員を対象とする県主催の英語力向上研修及び福岡県教育センターによる英語教員専門研修を実施するとともに、教育事務所や市町村単位の研修の充実を図る。

- (イ) 中央研修に参加した教員については、教育事務所の研修や福岡県教育センターの研修等において、講師を依頼するとともに、ALT研修会等において積極的に活用を図る。

(3) 研修の体系と内容の具体

【2019年度】

【高等学校】

1 運営会議

(1) 対象者

英語教育推進リーダー中央研修受講者

(2) 目的・内容

事業の平成31年度年間計画及び運営、各研修会の内容、域内研修等について検討する。

(3) 実施回数

年1回実施

2 モデル研修

(1) 対象者

英語教育推進リーダー、平成27～30年度新規採用英語教員

(2) 目的・内容

福岡県英語教育推進リーダーによるモデル授業と、研修受講者による授業方法に関する協議を実施し、研修対象者に4技能統合型授業の具体的なイメージをつかませる。また、英語教育推進リーダーの講義を行い、指導力の向上を図る。

(3) 実施回数

3回(各学校1回・計3回)

(4) 受講予定者

100名

3 メソッド研修

(1) 対象者

英語教育推進リーダー、平成27～30年度新規採用英語教員、平成31年度新規採用英語教員

(2) 目的・内容

指導方法により重点を置いた研修であり、英語教育推進リーダーによる講義を受けることによって、4技能統合型の実践的な指導方法を学び指導力を向上させる。

(3) 実施回数

9回

(4) 受講予定者

130名

4 実践研修

(1) 対象者

平成27～30年度新規採用英語教員

(2) 目的・内容

モデル研修とメソッド研修で学んだ、指導方法に関する知識と各学校のCAN-DOリストの目標を基に、参加教員がそれぞれの在籍校で研修成果を活かした授業を実践する。授業実施後は、各学校で研究協議を行い、研修成果の普及と各学校における授業改善を図るものとする。

(3) 実施回数

1回

(4) 研修予定者

100名

【小・中学校】

1 中学校英語教員英語力向上研修

(1) 対象者

中学校英語科教員

(2) 目的・内容

新学習指導要領の全面実施に向け、英語関係企業のノウハウを取り入れた効果的に英語力を高める研修を行うことで、授業を英語で進め、生徒の4技能（5領域）をバランスよく育成する言語活動及び評価を行うための英語力・指導力を高め、外国語科授業の質の向上を図る。

(3) 実施回数

2回

(4) 受講予定者

285名

2 小学校教員英語力向上研修

(1) 対象者

平成27年度～平成30年度福岡県小学校教員の英語力・指導力向上研修受講者（主幹教諭、教頭を除く）

(2) 目的・内容

小学校高学年外国語科の全面実施に向け、校内で英語教育の中心的な推進の役割を担う中核教員を対象に英語関係企業のノウハウを取り入れた効果的な授業づくり研修を行うことで、小学校英語教育の推進及び英語授業の質の向上を図る。

(3) 実施回数

12回（6各教育事務所×2回）

(4) 受講予定者

768名

【2020～2022年度】

【高等学校】

1 メソッド研修

(1) 対象者

新規採用英語教員等

(2) 目的・内容

指導方法により重点を置いた研修であり、英語教育推進リーダー等による講義を受けることによって、4技能統合型の実践的な指導方法を学び指導力を向上させる。

(3) 実施回数

1回

(4) 受講予定者

30名

2 実践研修

(1) 対象者

新規採用英語教員等

(2) 目的・内容

メソッド研修で学んだ、指導方法に関する知識と各学校のCAN-DOリストの目標を基に、参加教員がそれぞれの在籍校で研修成果を活かした授業を実践する。授業実施後は、各学校で研究協議を行い、研修成果の普及と各学校における授業改善を図るものとする。

(3) 実施回数

1回

<p>(4) 研修予定者 30名</p> <p>【小・中学校】</p> <p>1 中学校英語教員英語力向上研修（2020年度まで実施）</p> <p>(1) 対象者 中学校英語科教員</p> <p>(2) 目的・内容 新学習指導要領の全面実施に向け、英語関係企業のノウハウを取り入れた効果的に英語力を高める研修を行うことで、授業を英語で進め、生徒の4技能（5領域）をバランスよく育成する言語活動及び評価を行うための英語力・指導力を高め、外国語科授業の質の向上を図る。</p> <p>(3) 実施回数 2回</p> <p>(4) 受講予定者 285名</p>
--

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	研修の運営に係る協議 第1回運営会議【高等学校】	
5月	モデル研修（英語教育推進リーダー在籍校）【高等学校】 中学校教員の英語力向上研修①【中学校】	
6月		
7月	英語教員指導力向上研修①（メソッド研修）【高等学校】 小学校教員の英語力向上研修①【小学校】	
8月		
9月	初任者研修（メソッド研修）【高等学校】 中学校教員の英語力向上研修②【中学校】	
10月	英語教員指導力向上研修②（メソッド研修）【高等学校】 実践研修（各研修対象者在籍校）【高等学校】	
11月		
12月	フィードバックシートの提出【高等学校】 小学校教員の英語力向上研修②【小学校】	
1月		
2月		
3月	年度反省と次年度に向けた準備	
【その他の取組】		

